

臼杵市 施策評価シート  
(令和2年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	農林振興課有機農業推進室	目原 康弘	201

コード	IV-11-20	施策名	「有機の里うすき」の実現
施策の方針	おいしく安全な食材を創り活かす		
まちづくりの方針	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)		
5年後のめざす姿	「うすき夢堆肥」による「土づくり」に重点を置いた有機農業に取り組みやすい環境を整備し、生産者と消費者がともに「食」に関する重要性の理解を深めます。臼杵市長が認証する「ほんまもん農産物」(以下「ほんまもん農産物」)や「有機JAS認証による農産物」(以下「有機農産物」)を、気軽に手に入れることができる環境をめざします。		
施策の内容	「うすき夢堆肥」による土づくりにより農業者が有機農業に取り組みやすい環境づくりや、「ほんまもん農産物認証制度」による有機農産物のブランド化を推進するとともに、安心安全な農産物の供給や有機農業の生産拡大を図ります。また、有機農業の新規就農者の拡大や学校給食への有機野菜の供給拡大を図ります。		

<指標>

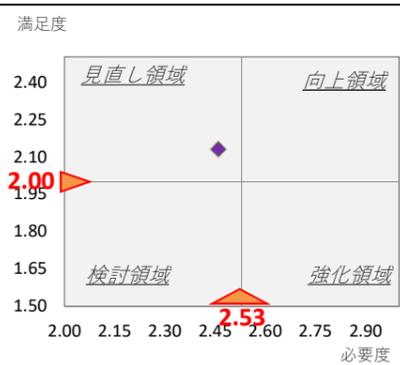
新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
「ほんまもん農産物」と有機農産物栽培生産戸数	「ほんまもん農産物」及び有機農産物認証生産戸数	目標 実績 達成率	戸数	62.0	60.0	63.0	65.0	70.0	75.0	80
				105.0%						
学校給食での「ほんまもん農産物」と有機農産物の使用割合	学校給食の野菜使用総量に対する「ほんまもん農産物」及び有機農産物の使用割合	目標 実績 達成率	割合	14.6	16	12.5	18	20	22	24.0
				78.1%						
「ほんまもん農産物」と有機農産物の利用店舗数	「ほんまもん農産物」及び有機農産物取扱店舗数	目標 実績 達成率	店舗数	30	30	41	35	40	45	50
				136.7%						
「ほんまもん農産物」及び有機農産物栽培圃面積	「ほんまもん農産物」及び有機農産物栽培圃面積	目標 実績 達成率	面積(ha)	80.0	84.0	80.8	88.0	92.0	96.0	100.0
				96.2%						
		目標 実績 達成率								
		目標 実績 達成率								

指標の分析

・「ほんまもん農産物及び有機農産物」認証生産戸数については、ほんまもん農産物の生産流通拡大に向けた先進地視察や土壌分析による適正施肥の推進、農業生産研修等の普及活動により農家の生産意欲の向上が図れ、生産戸数が増加しています。  
 ・学校給食への供給については、目標値に達していないため、買取価格の見直しを行うことにより、利用率の向上を図ります。  
 ・「ほんまもん農産物及び有機農産物」の取扱店舗数は、各イベント等でのPR活動に加えSNS等での情報発信に積極的に取り組んだことにより、ほんまもん農産物への興味が高まり飲食店を中心に取り扱い店舗数の増加に繋がっています。  
 ・有機栽培面積については、認証制度を見直し、正確な数値の把握に努め、目標数値の達成のため取り組みます。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R2調査)	見直し領域	2.46	2.13
市民意識調査結果分析	日本における有機農産物の需給は0.4~0.6%程度と低く、臼杵市においても食にこだわらない方には有機農業は関心の低いものとなりますが、有機農業に取り組む市の姿勢に共感した移住者が増加しています。また、食育についても子育て世代の方に有機農業の告知も含め積極的に事業展開しています。		



<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	有機の里うすきの取り組みにおいて、担い手確保が優先的課題となりますが、併せて販路の構築が必要となります。販路の安定的な供給先として、学校給食が挙げられたため、令和3年度においては、実証栽培による取り組みを試験的に導入し、安定的な供給体制及び企画の統一を図っていきます。 担い手確保策については、地域おこし協力隊制度の活用に加え、ファーマーズスクール導入により、担い手育成を加速させていく必要があります。
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1 土づくりセンター指定管理料	土づくりセンターの堆肥製造、販売等の指定管理を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	30,761	31,261	35,000	重点継続	○	
2 ほんまもんの里うすき農業推進協議会補助金	環境保全型の推進、「ほんまもんの里うすき」ブランドの確立、地産地消を推進する協議会への補助金	農林振興課有機農業推進室	○	4,400	3,300	4,300	継続		
3 有機農業起業家誘致奨励金	有機JAS認証を取得する新規農業者への奨励を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	1,000	1,000	3,000	継続		
4 環境保全型農業直接支払交付金	環境保全を行う有機農業者への交付を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	2,888	4,337	4,380	継続	○	
5 地域おこし協力隊(有機農業)	地域おこし協力隊制度を活用し、栽培研修及び販売対策事業に取り組みます。	農林振興課有機農業推進室	○	14,998	20,704	23,704	継続	○	
6									
7									
合計				54,047	60,602	70,384			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	「うすき夢堆肥」の安定供給による生産基盤の安定・確保、地域おこし協力隊の活用やファーマーズスクールの実施等に Yる担い手育成の強化、契約栽培の確立及び法人を中心とした共同販路体制の充実等による安定的な販路の構築等、 現状の取り組みをさらに強化していく必要があります。	課長評価
概ね順調		最重点施策であり、来年度強化する

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価	有機農業の推進は、農業の振興という本来の施策目的のみでなく、移住や食育等の施策への波及もあるため、取り組みを強化している施策であるため。
最重点施策であり、来年度強化する	

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
有機農業の需要は、伸びしろがあり将来性は高く、また、指標にある「ほんまもん農産物」と有機農産物の利用店舗数が目標を達成(達成率136.7%)しており、販路も確保できているのであれば、支援を継続し、有機農業でのビジネスモデルが構築することができれば、非常に将来性の高い施策になると感じている。 学校給食に有機野菜を出すことは、サイズや量のこともあり、できる範囲での実施に切り替えてはどうか。	強化

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

販路は、当初の都市圏中心から、中国エリア迄を範囲として見直し、まず県内での周知を進めている。 給食への供給拡大は、重要な施策でより推進していくよう考えている。具体的には、主要3品目の設定、年間生産の空白期間を減らす取組、保存技術の実証実験、生産計画の把握とそれに沿ったメニュー作り等に取り組んでいる。
---